

感染症患者発生情報（週報）

埼玉県内情報 2024 年 第 11 週（3 月 11 日～3 月 17 日）

＜全数把握対象疾患の患者情報＞

一類及び二類（結核を除く）感染症	報告なし
三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症	4 人 類型 無症状病原体保有者 4 人 血清型 O157 2 人、O91 1 人、 O121 1 人
四類感染症 デング熱	1 人 推定感染地域 国外
レジオネラ症	1 人 病型 肺炎型
五類感染症 ウイルス性肝炎	2 人 病型 B 型 1 人、 その他（EBV による肝炎）1 人
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3 人 血清群 A 群 2 人、不明 1 人
後天性免疫不全症候群	1 人 病型 A I D S
侵襲性肺炎球菌感染症	1 人
梅毒	13 人 病型 早期顕症Ⅰ期 11 人、 早期顕症Ⅱ期 2 人
百日咳	3 人 年齢階級 0 歳 1 人、20 歳代 1 人、 50 歳代 1 人

＜新型コロナウイルス感染症発生状況＞

新型コロナウイルス感染症(6.67→6.26:図1)の定点当たり報告数は、前週と同水準であった。保健所別では、幸手(9.43)、狭山(9.00)保健所管内からの報告が多い。基幹定点における入院患者の報告は41人(前週47人)であった。年齢階級別では、70歳以上が全体の約76%であった。

＜定点把握対象疾患の患者情報＞

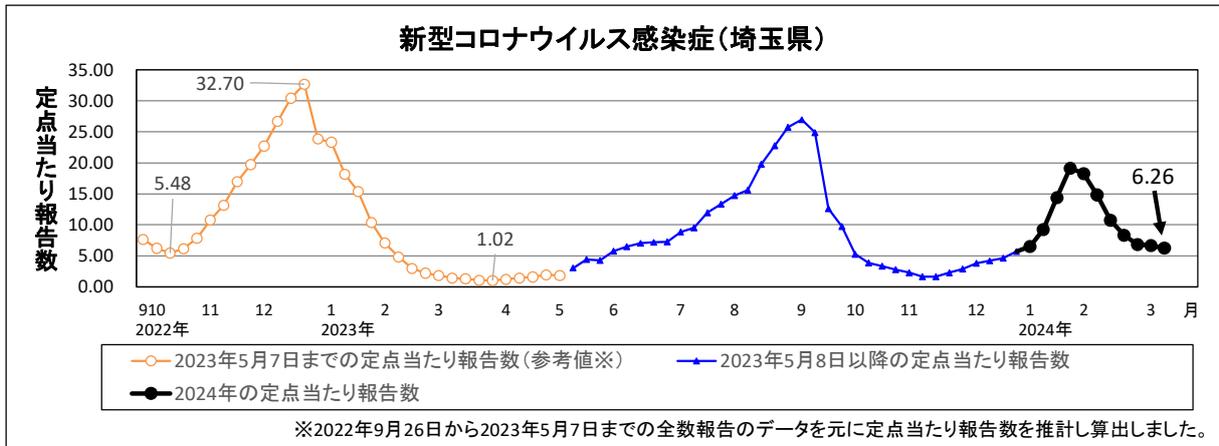
インフルエンザ(19.73→22.21:図2-1～4)の定点当たり報告数は、前週に引き続き増加した。保健所別では、14保健所管内(県内17保健所)で前週の値を上回り、特に鴻巣(35.16)保健所管内からの報告が多い。年齢階級別では、7～9歳の報告が多い。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(4.70→5.10:図3-1～2)の定点当たり報告数は、前週に引き続き増加し、高い水準にある。保健所別では、幸手(13.56)、春日部(11.83)、南部(9.20)保健所管内からの報告が引き続き多い。RSウイルス感染症(0.24→0.45:図4)の定点当たり報告数は、前週と比較して増加した。保健所別では鴻巣(1.83)、幸手(1.11)保健所管内で多い。眼科定点報告疾患では、急性出血性結膜炎2人、流行性角結膜炎9人の報告があった。基幹定点報告疾患では、無菌性髄膜炎2人、インフルエンザ(入院)(図2-4)9人(前週8人)の報告があった。

※ 全国の感染症発生動向に関する情報は、国立感染症研究所の感染症疫学センターホームページ

(URL:<http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>)で御覧いただけます。

<新型コロナウイルス感染症発生状況（第11週）－小児科定点・内科定点からの報告－>

図1 新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数の推移



<インフルエンザ流行情報（第11週）－小児科定点・内科定点からの報告－>

図2-1 インフルエンザの定点当たり報告数の推移

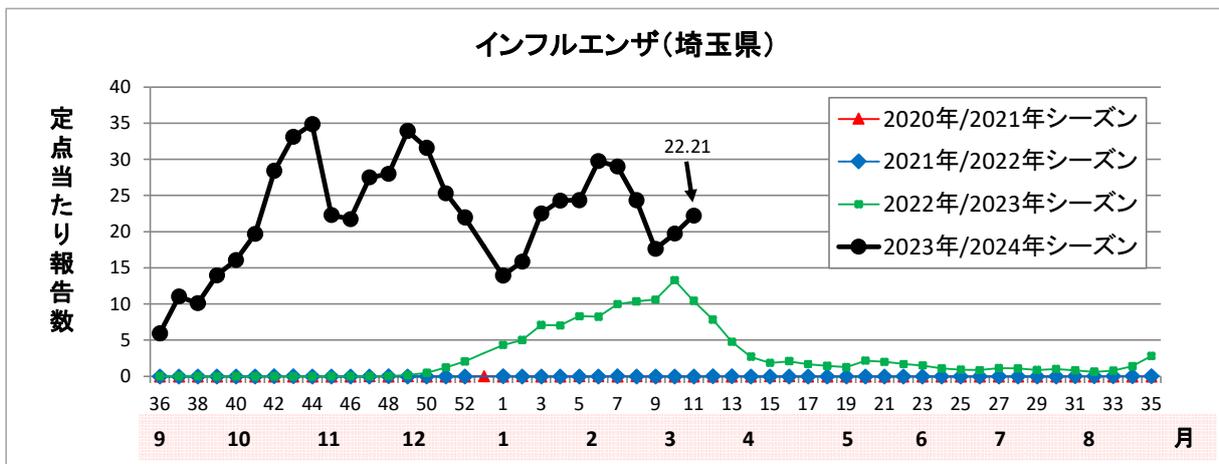


図2-2 インフルエンザの保健所別流行状況の推移（2024年第9週～第11週）

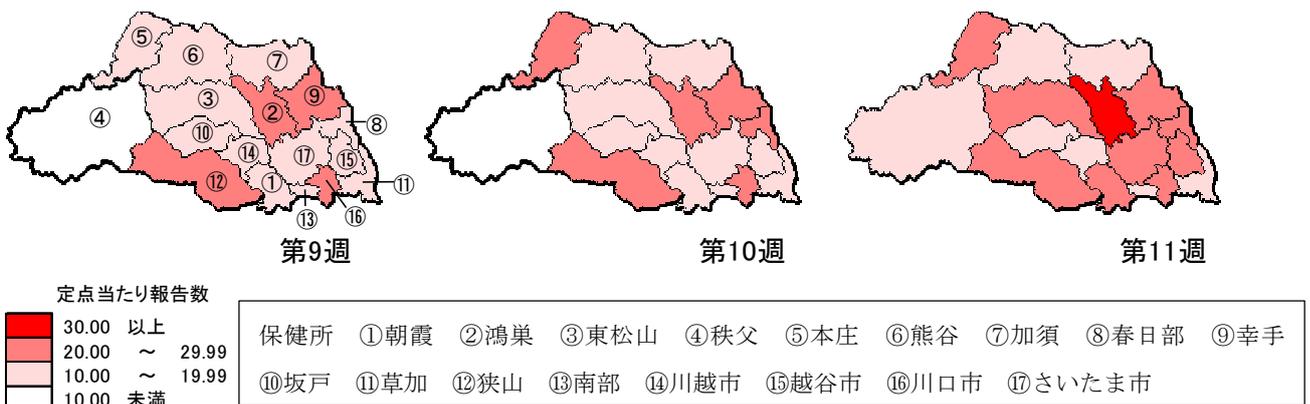
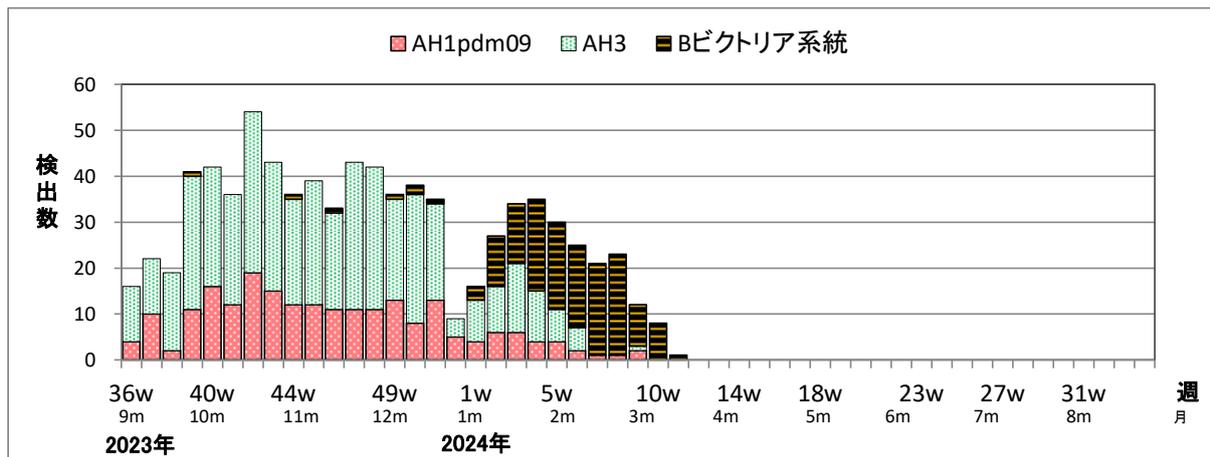


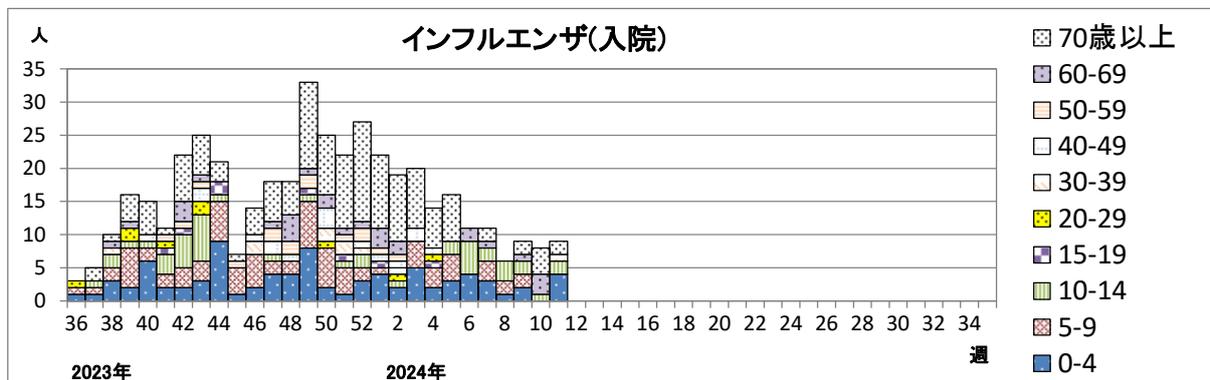
図 2-3 インフルエンザウイルスの週別検出状況



2024年第8週～第10週（2024年2月19日～3月10日）の3週間に採取されたインフルエンザ検体のうちウイルスの型別の終了した43検体は、B型（ビクトリア系統）39件（90.7%）、AH1pdm09型が3件（7.0%）、AH3型が1件（2.3%）でした。

詳細なウイルスの検出状況は、<https://www.pref.saitama.lg.jp/b0714/surveillance/srv-flu.html> をご覧ください。

図 2-4 インフルエンザ（入院）の年齢階級別報告数



<今週の注目される定点把握対象疾患の推移>

図 3-1 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数の推移

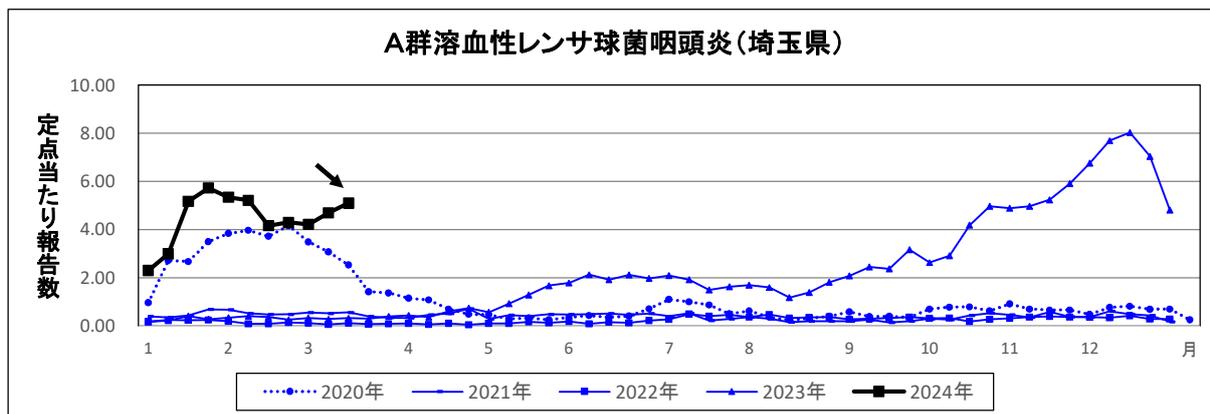


図 3-2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の保健所別流行状況の推移 (2024年第9週～第11週)

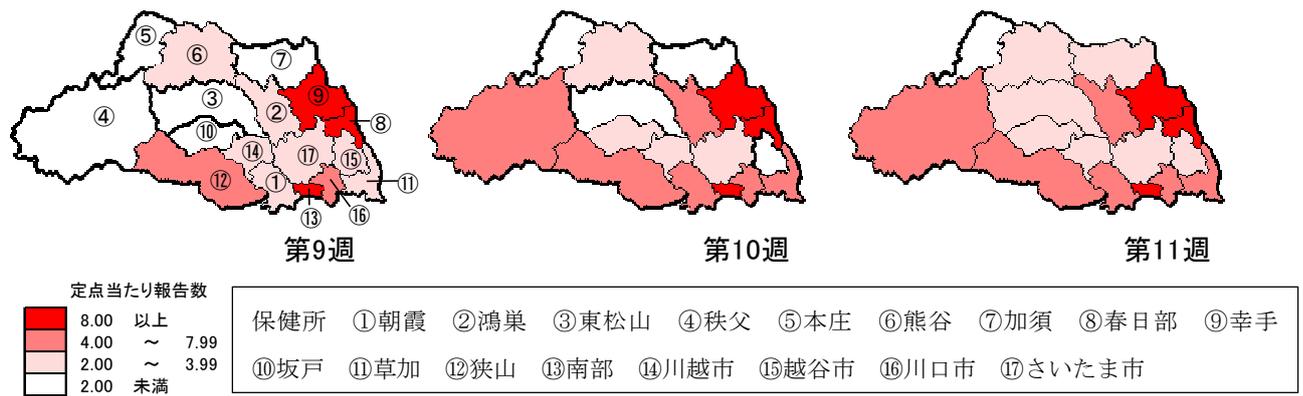
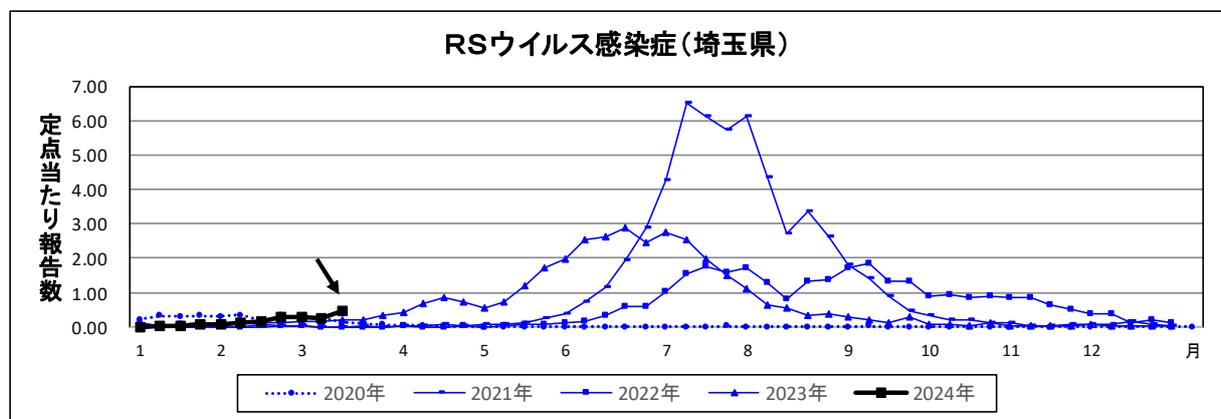


図 4 RSウイルス感染症の定点当たり報告数の推移



感染症発生状況(全数把握対象疾患)
(第11週)

(2024年3月19日 15:00集計)

	今週 届出	累 計	2023年 累計		今週 届出	累 計	2023年 累計
一類感染症							
エボラ出血熱				ペスト			
クリミア・コンゴ出血熱				マールブルグ病			
痘そう				ラッサ熱			
南米出血熱							
二類感染症							
急性灰白髄炎				中東呼吸器症候群(MERS)			
結核*1	-	-		鳥インフルエンザ(H5N1)			
ジフテリア				鳥インフルエンザ(H7N9)			
重症急性呼吸器症候群(SARS)							
三類感染症							
コレラ				腸チフス			3
細菌性赤痢			9	パラチフス			1
腸管出血性大腸菌感染症	4	24	167				
四類感染症							
E型肝炎		10	43	東部ウマ脳炎			
ウエストナイル熱				鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)			
A型肝炎		2	3	ニパウイルス感染症			
エキノコックス症				日本紅斑熱		1	
エムポックス			5	日本脳炎			
黄熱				ハンタウイルス肺症候群			
オウム病			1	Bウイルス病			
オムスク出血熱				鼻疽			
回帰熱				ブルセラ症			
キャサヌル森林病				ベネズエラウマ脳炎			
Q熱				ヘンドラウイルス感染症			
狂犬病				発しんチフス			
コクシジオイデス症				ポツリヌス症			
ジカウイルス感染症				マラリア			2
重症熱性血小板減少症候群				野兎病			
腎症候性出血熱				ライム病			1
西部ウマ脳炎				リッサウイルス感染症			
ダニ媒介脳炎				リフトバレー熱			
炭疽				類鼻疽			
チクングニア熱				レジオネラ症	1	16	112
つつが虫病			3	レプトスピラ症			
デング熱	1	2	9	ロッキー山紅斑熱			
五類感染症							
アメーバ赤痢		7	28	侵襲性肺炎球菌感染症	1	18	80
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)	2	3	7	水痘(入院例に限る)			13
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症		18	71	先天性風しん症候群			
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)			6	梅毒	13	92	462
急性脳炎		9	39	播種性クリプトコックス症		1	7
クリプトスポリジウム症				破傷風		1	4
クロイツフェルト・ヤコブ病		1	8	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症			
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3	40	64	バンコマイシン耐性腸球菌感染症			2
後天性免疫不全症候群	1	5	32	百日咳	3	11	79
ジアルジア症			3	風しん			1
侵襲性インフルエンザ*菌感染症		4	9	麻しん			
侵襲性髄膜炎菌感染症			2	薬剤耐性アシネトバクター感染症			1

累計は診断日で集計

*1 結核は月単位で集計、別に掲載します。

結核届出状況(2024年2月分)

2024年2月の届出総数は、患者45人、疑似症患者1人、無症状病原体保有者29人の計75人であった。前月と比べると患者数、無症状病原体保有者数ともに同水準であった。過去1年と比較して、患者数は同水準であり、無症状病原体保有者数は多かった。推定感染地域は国内38人、国外7人、不明30人であった。

表1 診断月別の届出数の推移(2023年2月～2024年2月)

	2023年*												2024年		
	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	累計**	
総計	61	72	63	62	67	57	59	62	50	59	76	68	75	143	
年齢階級															
10歳未満	1	1	4	2	4	1	1	0	0	0	5	2	1	3	
10歳代	0	1	1	0	1	1	0	1	1	1	0	0	2	2	
20歳代	4	6	7	3	7	14	5	6	3	2	8	2	6	8	
30歳代	6	7	10	5	1	1	3	2	3	6	7	9	6	15	
40歳代	3	10	3	2	5	2	1	3	2	4	3	4	8	12	
50歳代	5	7	4	7	6	5	5	10	5	10	5	6	8	14	
60歳代	11	6	9	8	8	9	5	10	10	8	12	6	13	19	
70歳代	13	14	10	11	12	14	19	7	10	8	10	16	11	27	
80歳代	16	14	11	18	17	7	16	17	15	17	17	18	15	33	
90歳以上	2	6	4	6	6	3	4	6	1	3	9	5	5	10	
性															
男	32	40	45	34	38	38	40	40	29	39	44	35	51	86	
女	29	32	18	28	29	19	19	22	21	20	32	33	24	57	
類型															
患者	44	47	35	46	35	47	49	49	34	42	41	46	45	91	
感染症死亡者の死体	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
感染症死亡疑いの死体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
疑似症患者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	
無症状病原体保有者	16	25	28	16	31	10	10	13	16	17	35	21	29	50	
病型															
肺結核	30	31	24	29	27	37	35	38	28	26	31	31	32	63	
肺結核及びその他の結核	6	3	3	6	5	3	7	2	2	7	5	5	3	8	
その他の結核	9	13	8	11	4	7	7	9	4	9	5	10	10	20	
疑似症患者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	
無症状病原体保有者	16	25	28	16	31	10	10	13	16	17	35	21	29	50	
推定感染地域															
国内	43	46	44	38	41	27	37	42	31	35	50	47	38	85	
国外	4	3	3	3	3	11	5	4	1	6	3	3	7	10	
不明	14	23	16	21	23	19	17	16	18	18	23	18	30	48	

*:2023年の届出数は暫定値

** :2024年1月からの累積届出数

2月に診断された75人を病型別にみると、肺結核は20歳代以上の年齢階級から計32人の報告があり、60歳代以上が22人で69%であった。

表2 年齢階級別病型別の届出数(2024年2月分)

	病 型					総計
	肺結核	肺結核及びその他の結核	その他の結核	疑似症患者	無症状病原体保有者	
総計	32	3	10	1	29	75
年齢階級						
10歳未満	0	0	0	0	1	1
10歳代	0	0	0	0	2	2
20歳代	2	1	0	0	3	6
30歳代	1	0	0	1	4	6
40歳代	2	0	1	0	5	8
50歳代	5	0	1	0	2	8
60歳代	7	1	2	0	3	13
70歳代	4	1	2	0	4	11
80歳代	7	0	4	0	4	15
90歳以上	4	0	0	0	1	5

感染症発生状況(定点把握対象疾患)

報告患者数

保健所別

(2024年第11週

3月11日～3月17日)

保 健 所	報告数	インフルエンザ #1	新型コロナウイルス感染症	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 #2	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 #3	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	インフルエンザ (入院)	新型コロナウイルス感染症 (入院)	
																							定点当たり
全 県	報告数	5,796	1,635	74	98	837	925	37	13	2	42	-	6	2	9	-	2	-	-	-	-	9	41
	定点当たり	22.21	6.26	0.45	0.60	5.10	5.64	0.23	0.08	0.01	0.26	-	0.04	0.05	0.21	-	0.17	-	-	-	0.75	3.42	
朝 霞	報告数	546	159	4	6	95	79	2	1	-	2	-	-	-	1	-	2	-	-	-	2	5	
	定点当たり	23.74	6.91	0.27	0.40	6.33	5.27	0.13	0.07	-	0.13	-	-	-	0.25	-	2.00	-	-	-	2.00	5.00	
鴻 巣	報告数	668	143	22	12	60	69	2	3	-	3	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*	
	定点当たり	35.16	7.53	1.83	1.00	5.00	5.75	0.17	0.25	-	0.25	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*	
東 松 山	報告数	203	35	1	1	14	28	1	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	
	定点当たり	25.38	4.38	0.20	0.20	2.80	5.60	0.20	-	0.20	0.40	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.00	1.00	
秩 父	報告数	51	17	-	3	15	4	-	-	-	-	-	-	*	*	-	-	-	-	-	-	-	
	定点当たり	10.20	3.40	-	1.00	5.00	1.33	-	-	-	-	-	-	*	*	-	-	-	-	-	-	-	
本 庄	報告数	185	40	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	
	定点当たり	26.43	5.71	-	0.25	0.25	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.00	
熊 谷	報告数	225	66	4	1	31	47	-	2	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	5	
	定点当たり	17.31	5.08	0.50	0.13	3.88	5.88	-	0.25	-	0.25	-	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	5.00	
加 須	報告数	157	45	1	1	20	7	2	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2	
	定点当たり	15.70	4.50	0.17	0.17	3.33	1.17	0.33	-	-	0.17	-	0.17	-	-	-	-	-	-	-	-	2.00	
春 日 部	報告数	287	83	-	4	71	85	5	-	-	4	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*	
	定点当たり	28.70	8.30	-	0.67	11.83	14.17	0.83	-	-	0.67	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*	
幸 手	報告数	373	132	10	29	122	34	3	-	-	3	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*	
	定点当たり	26.64	9.43	1.11	3.22	13.56	3.78	0.33	-	-	0.33	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*	
坂 戸	報告数	194	70	-	-	13	22	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	8	
	定点当たり	19.40	7.00	-	-	2.17	3.67	-	-	-	0.17	-	0.17	-	-	-	-	-	-	-	-	8.00	
草 加	報告数	325	156	2	3	65	78	4	5	-	-	-	-	-	1	*	*	*	*	*	*	*	
	定点当たり	17.11	8.21	0.17	0.25	5.42	6.50	0.33	0.42	-	-	-	-	-	0.33	*	*	*	*	*	*	*	
狭 山	報告数	692	225	5	10	83	46	7	1	-	5	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	
	定点当たり	27.68	9.00	0.31	0.63	5.19	2.88	0.44	0.06	-	0.31	-	-	-	0.20	-	-	-	-	-	1.00	-	
南 部	報告数	142	56	3	4	46	54	3	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	
	定点当たり	17.75	7.00	0.60	0.80	9.20	10.80	0.60	-	-	0.40	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.00	
川 越 市	報告数	156	62	-	-	26	20	1	-	-	1	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*	
	定点当たり	11.14	4.43	-	-	3.25	2.50	0.13	-	-	0.13	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*	
越 谷 市	報告数	261	82	1	1	17	52	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	
	定点当たり	20.08	6.31	0.13	0.13	2.13	6.50	-	-	-	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.00	2.00	
川 口 市	報告数	454	111	6	1	74	103	1	-	-	5	-	4	-	3	-	-	-	-	-	1	1	
	定点当たり	22.70	5.55	0.46	0.08	5.69	7.92	0.08	-	-	0.38	-	0.31	-	0.75	-	-	-	-	-	1.00	1.00	
さいたま市	報告数	877	153	15	21	84	196	6	1	1	9	-	-	2	2	-	-	-	-	-	3	7	
	定点当たり	20.40	3.56	0.54	0.75	3.00	7.00	0.21	0.04	0.04	0.32	-	-	0.22	0.22	-	-	-	-	-	3.00	7.00	

(- : 0.00)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

3月

19日

13:00 集計

感染症発生状況(定点把握対象疾患)

報告患者数

年齢別

(2024年第11週 3月11日～3月17日)

	合計	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～	
インフルエンザ #1	5,796	8	36	94	109	150	192	290	431	527	572	581	1,778	362	140	260	184	39	18	18	7	
新型コロナウイルス感染症	1,635	16	29	45	30	32	31	25	27	32	37	25	170	116	167	123	184	181	121	126	118	
	合計	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20～							
RSウイルス感染症	74	7	13	25	8	9	6	5	-	-	-	1	-	-	-							
咽頭結膜熱	98	1	-	12	13	16	14	10	9	7	1	4	5	2	4							
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	837	1	1	12	33	55	87	107	107	92	84	65	143	19	31							
感染性胃腸炎	925	3	27	74	85	78	96	79	90	71	74	55	102	13	78							
水痘	37	-	2	1	1	2	3	3	6	2	3	6	7	-	1							
手足口病	13	-	-	3	5	1	1	1	1	-	-	-	1	-	-							
伝染性紅斑	2	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-							
突発性発しん	42	2	6	19	12	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-							
ヘルパンギーナ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
流行性耳下腺炎	6	-	-	-	-	-	1	2	2	1	-	-	-	-	-							
	合計	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～		
急性出血性結膜炎	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-		
流行性角結膜炎	9	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	3	1	3	-	1		
	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～					
細菌性髄膜炎 #2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
無菌性髄膜炎	2	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
クラミジア肺炎 #3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
ロタウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
インフルエンザ(入院)	9	2	2	-	2	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2				
新型コロナウイルス感染症(入院)	41	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	3	2	31					

※ 表中の数値は各定点からの報告数(- : 0)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

全国・関東情報

第9週 (2月26日～3月3日)

令和6年3月21日

<全国情報>

インフルエンザ／COVID-19定点報告疾患: インフルエンザの定点当たり報告数は3週連続で減少したが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は北海道(27.35)、石川県(24.85)、山形県(20.49)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は322例と前週と比較して減少した。都道府県別では46都道府県から報告があり、年齢別では0歳(20例)、1～9歳(162例)、10代(40例)、20代(8例)、30代(9例)、40代(8例)、50代(6例)、60代(15例)、70代(15例)、80歳以上(39例)であった。新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数は第6週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は宮城県(13.16)、新潟県(12.93)、山形県(12.33)である。基幹定点からの新型コロナウイルス感染症入院サーベイランスにおける報告数は2,390例と前週と比較して減少した。都道府県別では47都道府県から報告があり、年齢別では0歳(62例)、1～9歳(85例)、10代(22例)、20代(25例)、30代(51例)、40代(69例)、50代(100例)、60代(238例)、70代(574例)、80歳以上(1,164例)であった。

小児科定点報告疾患(主なもの):RSウイルス感染症の定点当たり報告数は第2週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は大阪府(1.02)、北海道(0.76)、栃木県(0.67)である。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は鹿児島県(4.49)、新潟県(3.13)、山形県(2.86)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は山形県(11.54)、北海道(8.70)、鳥取県(6.89)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は横ばいであった。都道府県別の上位3位は富山県(13.28)、愛媛県(11.05)、大分県(10.81)である。手足口病の定点当たり報告数は2週連続で増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は福井県(1.64)、鹿児島県(0.90)、香川県(0.89)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位3位は香川県(0.07)、東京都(0.06)、神奈川県(0.05)である。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位3位は山形県(0.25)、愛媛県(0.19)、大分県(0.17)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位2位は鳥取県(0.11)、和歌山県(0.07)である。

基幹定点報告疾患:マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は沖縄県(0.57)、佐賀県(0.50)、青森県(0.33)、福井県(0.33)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は増加した。4都道府県から4例報告があり、年齢別では0歳(1例)、1～4歳(2例)、5～9歳(1例)であった。

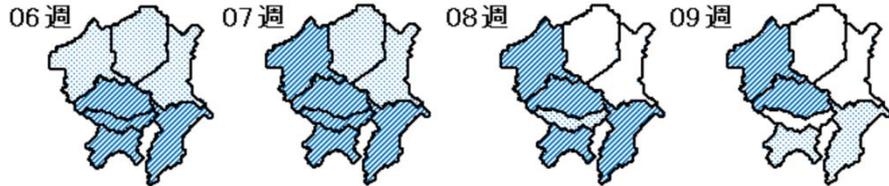
Infectious Diseases Weekly Report Japan 2024年 第9週(2月26日～3月3日):通巻第26巻 第9号より

<関東情報>

インフルエンザの定点当たり報告数は、群馬県(17.69)、埼玉県(17.62)からの報告が多い。

インフルエンザ

- 17.00 以上
- 13.00 ～ 17.00
- 13.00 未満



		2024年 09週								
		全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	報告数	68,883	22,527	1,199	858	1,486	4,598	3,210	5,214	5,962
	定点当たり	13.96	14.78	9.99	11.29	17.69	17.62	15.89	12.53	16.33
新型コロナウイルス感染症	報告数	34,488	9,794	1,186	660	715	1,789	1,560	1,940	1,944
	定点当たり	6.99	6.43	9.88	8.68	8.51	6.85	7.72	4.66	5.33
RSウイルス感染症	報告数	904	243	16	32	25	50	20	63	37
	定点当たり	0.29	0.25	0.21	0.67	0.47	0.30	0.16	0.24	0.16
咽頭結膜熱	報告数	2,994	477	54	26	58	94	69	86	90
	定点当たり	0.96	0.50	0.72	0.54	1.09	0.57	0.55	0.33	0.39
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	12,192	3,415	363	162	175	691	582	841	601
	定点当たり	3.89	3.57	4.84	3.38	3.30	4.21	4.66	3.21	2.62
感染性胃腸炎	報告数	17,166	4,846	352	148	296	1,005	676	1,468	901
	定点当たり	5.48	5.07	4.69	3.08	5.58	6.13	5.41	5.60	3.93
水痘	報告数	404	157	10	5	6	35	22	49	30
	定点当たり	0.13	0.16	0.13	0.10	0.11	0.21	0.18	0.19	0.13
手足口病	報告数	683	65	5	3	14	22	3	4	14
	定点当たり	0.22	0.07	0.07	0.06	0.26	0.13	0.02	0.02	0.06
伝染性紅斑	報告数	60	33	-	-	-	4	2	16	11
	定点当たり	0.02	0.03	-	-	-	0.02	0.02	0.06	0.05
突発性発しん	報告数	659	195	9	13	16	37	28	53	39
	定点当たり	0.21	0.20	0.12	0.27	0.30	0.23	0.22	0.20	0.17
ヘルパンギーナ	報告数	103	22	4	1	5	4	1	4	3
	定点当たり	0.03	0.02	0.05	0.02	0.09	0.02	0.01	0.02	0.01
流行性耳下腺炎	報告数	85	32	2	-	1	3	3	14	9
	定点当たり	0.03	0.03	0.03	-	0.02	0.02	0.02	0.05	0.04
急性出血性結膜炎	報告数	9	5	-	1	1	-	1	2	-
	定点当たり	0.01	0.02	-	0.08	0.07	-	0.03	0.05	-
流行性角結膜炎	報告数	313	103	17	4	4	16	13	20	29
	定点当たり	0.45	0.50	1.00	0.33	0.29	0.39	0.37	0.51	0.58
細菌性髄膜炎 #2	報告数	5	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.01	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	報告数	6	2	-	-	-	2	-	-	-
	定点当たり	0.01	0.02	-	-	-	0.17	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	報告数	38	6	-	2	-	2	-	1	1
	定点当たり	0.08	0.07	-	0.29	-	0.17	-	0.04	0.08
クラミジア肺炎 #3	報告数	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	4	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.01	-	-	-	-	-	-	-	-

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-:0.00)

- 感染症発生動向調査
2024年
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第1週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2024年 第2週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2024年 第3週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2024年 第4週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2024年 第5週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2024年 第6週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2024年 第7週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2024年 第8週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2024年 第9週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2024年 第10週](#)

感染症の流行状況 2024年 第11週

2024年第11週（3月11日～3月17日）の要点

[インフルエンザ](#)の定点当たり報告数は、前週に引き続き増加しました。

[咳エチケット](#)、外出後の手洗いとともに、十分な休養をとるよう心がけてください。また、お子さんの体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早めに受診してください。



感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
インフルエンザ	↑	★★	手足口病	→	★
新型コロナウイルス感染症	→	—	伝染性紅斑(りんご病)	→	★
RSウイルス感染症	↑	★	突発性発しん	→	★
咽頭結膜熱(プール熱)	→	★★	ヘルパンギーナ	→	★
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↑	★★★	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	→	★
感染性胃腸炎	→	★	急性出血性結膜炎	→	★
水痘(みずぼうそう)	→	★	流行性角結膜炎	→	★

*1.推移、流行状況は、県内全域の傾向です。*2.推移は2週間前からの傾向を示します。(→:増減無し、↑:増加、↓:減少) *3.流行状況は今週の流行を示します。(小さい→★、★★、★★★→大きい)

疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。

全国の感染症発生動向状況については、国立感染症研究所のホームページ「[感染症疫学センター](#)」でご覧になれます。

この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。



埼玉県のマスコット コバトン